

## 平成 22 年度 第 6 回内灘町地球温暖化対策地域協議会 議事録

1. 日 時 平成 23 年 3 月 3 日 (木) 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 場 所 内灘町役場 4 階 405 会議室
3. 出席者
  - (1) 委 員 12 名  
早川会長、源代委員、森委員、表井委員、多田委員、西田委員  
八田委員、橋本委員、長谷川委員、畠委員、北川委員、奥村委員
  - (2) 事務局 4 名  
川口町民福祉部長、北川環境政策課長、田中環境政策課副参事、南環境政策課主事
  - (3) コンサルタント 2 名
4. 議事内容
  - (1) 開会 (会長)
  - (2) 連絡事項
    - 1) 自転車シェアリングに関する住民アンケート結果 (説明：事務局)
  - (3) 議事
    - 1) 実行計画 (案) への意見 (説明：事務局、コンサルタント)
    - 2) 実行計画のタイトル (進行：事務局)
    - 3) 質疑応答

【実行計画 (案) への意見】

(委員) P. 30 のコラムは、家庭における省エネにより、どれだけ節約できるのかを金額で示してあり分かりやすい。この項目の中に生ごみのたい肥化による効果、例えばごみ袋の購入費やごみの焼却量の削減効果などを追加していただきたい。

(事務局) コラムの追加を検討すべく、町で所有しているデータを調べてみたい。

(委員) ぜひお願いしたい。

(委員) 今回提示された資料の中で、前回提示された資料といくつか数値が異なるものがある。例えば、内灘町における温室効果ガスが基準年比で 24% 増加したと示されているが、前回の資料では 26% となっていたはずである。その説明をお願いしたい。

(コンサルタント) 実行計画の最終案作成にあたり、排出量等の計算書を最終チェックしたところ、係数や計算のミスがあり、これらを修正したためである。

(委員) 実行計画の進行管理の指標を電力の消費量にしたいとのことであるが、内灘

町のエネルギー消費量の半分は燃料油となっているため、燃料油の消費状況についても把握したほうが良いのではないかと？

(会長) P.13の事業所におけるエネルギー消費量のところで、LPGや重油、灯油の消費量が示されているが、こういった項目も指標として用いた方が良いという指摘である。

(委員) 私の推測であるが、内灘町におけるエネルギー消費は運輸を除けば、5割が家庭、2割が金沢医科大学病院で使われ、残り3割のうち、2割が業務用、1割が産業用で使われている。このように私は仮説を立てている。産業用については、1990年に対して電力消費量が緩やかに増加していると考察しているが、本当は減少しているのではないのか？電力の契約口数を見ても、ここ数年は数件ほど減少している。これに対して業務用については、町内にコンビニエンスストアが増えるなど、1990年に比べるとエネルギー消費量が増えていると実感することができる。このことを踏まえて、電力だけではなく、燃料油の消費実態について、産業用や業務用の主たるところをモニタリングした方が良いのではないかと？モニタリングというのは、アンケートだけではなくて、例えば、上位50件などの企業について消費実態を追跡調査することはできないのか？

(会長) 例えば、ISO14001を取得しているような企業であれば、毎年、エネルギーの消費状況をまとめることになっているので、このような企業を対象にすることも考えられる。

(委員) 来年度以降の運用時に検討していただきたいと思う。実際に対策を検討する時の有用な資料となる。

(委員) 化石燃料を電力に置き換えることで、CO<sub>2</sub>の削減に効果があるケースもある。従って、化石燃料からのCO<sub>2</sub>の削減状況を調べておかないと、電力消費量が増えているが、実際はCO<sub>2</sub>の削減量は減っているということになりかねない。また、削減目標については地域全体の総量としての目標も必要であるが、一世帯あたりとか、人口一人あたりの目標の方が努力の形がわかりやすいのではないかと？

(会長) それは、実行計画を推進していく上での今後のデータの取り方についてのご意見と理解すれば宜しいのか？

(委員) そのとおりである。

(事務局) 今後、検討したい。

(委員) P.33の優秀な取り組みに対する表彰制度については、事業者のみが対象なのか？例えば、学校でも取り組んでいるし、NPO等での取り組む場合もある。そのため、「事業者等」とするなど、もう少し対象に幅を持たせた方が良いのではないかと？

(事務局) 表彰制度を設ける際に、どこを対象にするのかを検討すれば良いと考えて

いる。対策の文面については「事業者」から「事業者等」に改めたい。

(事務局) P. 25 に示すように、内灘町では公民館での環境に対する取り組みが盛んである。エコに取り組む団体を対象とした石川県の事業に「エコギフト事業」というものがあるが、この度、白帆台公民館が地域版の金賞を、大根布公民館が奨励賞を受賞した。このように、地域での積極的な取り組みが今後も広まっていくよう、行政としても積極的に施策を進めたいと考えている。

#### 【実行計画のタイトル】

- ・各委員からは次のタイトル（案）が提案された。
  - ①「エコタウン内灘 2020 デザインプラン」 (委員)
  - ②「温暖化ガス 2020 削減デザインキャンパス」(委員)
  - ③「エコッチ協働 2020 削減進めよう」 (委員)
  - ④「ストップ温暖化内灘作戦～地域力で水辺のエコタウンを～」(委員)
  - ⑤「うちから  
ちいきから  
なつかしい暮らしを  
だいにしよう！」(委員)
  - ⑥「みんなでとりくむエコタウン内灘」(委員)
  - ⑦「砂丘のまち エコタウン内灘」(委員)
  - ⑧「うちなだ水辺のエコタウンプロジェクト」(事務局)
  - ⑨「人にやさしい町 エコタウン内灘」 (事務局)
- ・以上の提案より、実行計画は次のタイトルに決定した。

主題「砂丘のまち エコタウン内灘」  
副題「うちから  
ちいきから  
なつかしい暮らしも  
だいにしよう！」

#### 4) その他

- ・今後のスケジュール  
環境審議会 (3/25) : 実行計画の審議
- ・関連情報の紹介  
河北潟 UF0 (内灘・噴水・オブジェ) 事業の概要について  
内灘町生物多様性シンポジウム (3/6) の開催について

#### (4) 閉会 (事務局)